

平成 28 年度

# 行政 監 査 結 果 報 告 書

県民利用施設の利用促進について

平成 29 年 3 月

新潟県監査委員

## 目 次

第 1	行政監査の趣旨	1
第 2	監査のテーマ及び目的	1
1	監査のテーマ	1
2	監査の目的	1
第 3	監査の実施概要	1
1	監査の実施期間	1
2	監査対象所属及び監査の方法	1
第 4	監査の着眼点	4
第 5	監査に係る結果及び意見（総論）	5
1	監査に係る結果	5
2	監査に係る意見	24
第 6	監査に係る結果及び意見（個別施設）	26
I	実地監査分	26
1	新潟県立歴史博物館【直】	26
2	新潟県立自然科学館【指】	30
3	新潟ユニゾンプラザ【指】	38
4	新潟県立環境と人間のふれあい館-新潟水俣病資料館-【直】	48
5	新潟県立鳥屋野潟公園（女池・鐘木地区）【指】	52
6	新潟県立植物園【指】	58
7	新潟県立紫雲寺記念公園【指】	66
8	展望室（朱鷺メッセ）【指】	75
9	新潟県立図書館【直】	82
10	新潟県立近代美術館及び新潟県立万代島美術館【直】	85
11	新潟県埋蔵文化財センター【指】	91
II	書面監査分	98
1	新潟県民会館【指】	98
2	新潟県関岬キャンプ場【指】	105
3	新潟県柏崎原子力広報センター【指】	110

4	新潟県障害者交流センター【指】	114
5	新潟県点字図書館【指】	120
6	新潟県聴覚障害者情報センター【指】	125
7	新潟ふるさと村アピール館【指】	130
8	新潟県立鳥屋野潟公園（スポーツ公園） ・清五郎ワールドカップ広場【指】	135
9	新潟県立島見緑地、新潟県立聖籠緑地【指】	145
10	新潟県立大潟水と森公園【指】	149
11	奥只見レクリエーション都市公園【指】	153
12	新潟コンベンションセンター・新潟県万代島駐車場 ・新潟港万代島緑地【指】	158
13	新潟県柏崎マリーナ【指】	166
14	新潟県立生涯学習推進センター【直】	171
15	新潟県少年自然の家【直】	175
16	新潟県立文書館【直】	179
17	新潟県政記念館【指】	182
18	新潟県立長岡屋内総合プール【指】	186
19	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター【指】	192

【直】：県が直接管理する施設（直営施設）

【指】：指定管理者が管理する施設（指定管理施設）

## 第1 行政監査の趣旨

行政監査は、地方自治法第199条第2項の規定に基づき、

- ① 県の事務が法令等の定めるところに従って適正に執行されているか
- ② 県民の福祉の増進に寄与し、最少の経費で最大の効果を上げているか
- ③ 組織及び運営の合理化に努め、規模の適正化が図られているか

について監査を実施するものである。

## 第2 監査のテーマ及び目的

1 監査のテーマ 「県民利用施設の利用促進について」

2 監査の目的

県立図書館等の不特定多数の県民が利用する公の施設（以下「県民利用施設」という。）は、行政サービス等を県民が直接利用する場である。

県民の満足の向上のためには、県立施設としての特色を出しつつ、多様な県民のニーズに対応していくことが重要である。

また、設置後長期間経過している施設が多く、安全・快適に利用するための日常管理に加え、維持修繕が適切に行われているかも必要である。

これらの観点から、限られた予算の中で、県民利用施設の管理運営が効果的に行われ、利用促進につながっているか監査する。

## 第3 監査の実施概要

1 監査の実施期間

平成28年9月から平成29年3月まで（予備調査を含む。）

2 監査対象所属及び監査方法

(1) 県が直接管理する県民利用施設（県立歴史博物館等8施設）

No	県民利用施設 【監査対象所属】	監査 方法	本庁所管課
1	新潟県立歴史博物館	実地	文化振興課
2	新潟県立環境と人間のふれあい館 -新潟水俣病資料館-	実地	生活衛生課
3	新潟県立図書館	実地	生涯学習推進課
4	新潟県立生涯学習推進センター	書面	
5	新潟県少年自然の家	書面	

No	県民利用施設 【監査対象所属】	監査 方法	本庁所管課
6	新潟県立文書館	書面	文化行政課
7	新潟県立近代美術館	実地	
8	新潟県立万代島美術館	書面	

(2) 指定管理者が管理する県民利用施設（新潟県民会館等 23 施設、指定管理者数 21）の所管課

No	県民利用施設	監査 方法	本庁所管課 【監査対象所属】	指定管理者 【関係人】
1	新潟県民会館	書面	文化振興課	(公財) 新潟市芸術文化振興財団
2	新潟県立自然科学館	実地		サイエンス・フューチャーグループ ((公財) 科学技術広報財団、(株)コングレ)
3	新潟県関岬キャンプ場	書面	環境企画課	(一財) 休暇村協会
4	新潟県柏崎原子力広報センター	書面	原子力安全対策課	(公財) 柏崎原子力広報センター
5	新潟ユニゾンプラザ	実地	福祉保健課	(福) 県社会福祉協議会
6	新潟県障害者交流センター	書面	障害福祉課	(福) 県身体連・(福) 豊潤舎・(福) 県視障・県スポ協グループ
7	新潟県点字図書館	書面		
8	新潟県聴覚障害者情報センター	書面		
9	新潟ふるさと村アピール館	書面	交流企画課	愛宕商事・グリーン産業共同体
10	新潟県立鳥屋野潟公園 (スポーツ公園)・清五郎ワールドカップ広場	書面	都市整備課	アルビレックス新潟・都市緑花センターグループ
11	新潟県立鳥屋野潟公園 (女池・鐘木地区)	実地		(株)アール・ケー・イー
12	新潟県立島見緑地 新潟県立聖籠緑地	書面		グリーン産業(株)
13	新潟県立大潟水と森公園	書面		(公財) 新潟県都市緑花センター

No	県民利用施設	監査方法	本庁所管課 【監査対象所属】	指定管理者 【関係人】
14	新潟県立植物園	実地		国際総合学園・都市緑花センターグループ
15	新潟県立紫雲寺記念公園（屋内体育施設含む）	実地		紫雲寺記念公園グループ（横木造園（株）、（株）本間造園、環境をサポートする（株）きらめき）
16	奥只見レクリエーション都市公園（6地域）	書面		むつみグループ（グリーン産業（株）、（株）高野造園土木、（特非）みんなの庭）
17	新潟コンベンションセンター 新潟県万代島駐車場 新潟港万代島緑地	書面	港湾振興課	新潟万代島総合企画（株）
18	展望室（朱鷺メッセ）	実地		ホテル朱鷺メッセ（株）
19	新潟県柏崎マリーナ	書面	港湾整備課	（株）柏崎マリン開発
20	新潟県政記念館	書面	文化行政課	新潟県政記念館運営グループ（（株）新潟ビルサービス、新潟市上古町商店街振興組合）
21	新潟県埋蔵文化財センター	実地		（公財）新潟県埋蔵文化財調査事業団
22	新潟県立長岡屋内総合プール	書面	保健体育課	PFI 長岡屋内総合プール（株）
23	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター	書面		（公財）新潟県体育協会

### **(3) 監査の方法**

上記監査対象から提出された監査資料に基づいて監査を行った。

また、一部の県民利用施設に対し実地監査を行った。なお、指定管理者が管理する県民利用施設の実地監査については、指定管理者に対して、関係人調査を行った。

## **第4 監査の着眼点**

### **1 サービス等の水準の維持・向上のための戦略的な取組**

- (1) 利用促進の目標設定と現状
- (2) 特色あるサービス提供等の取組
- (3) サービス等の特性を踏まえた情報発信
- (4) 効率的なサービス提供の取組
- (5) 関係機関、ボランティア等との連携の取組
- (6) ニーズ把握とサービス等の適切な見直し

### **2 安全、快適な施設の管理運営の取組**

- (1) 建物、設備等の点検管理と計画的な維持修繕
- (2) 多様な利用者への配慮の取組
- (3) 災害への準備状況
- (4) 個人情報の適正な管理

## 第5 監査に係る結果及び意見（総論）

### I 監査に係る結果

#### 1 サービス等の水準の維持・向上のための戦略的な取組

##### (1) 利用促進の目標設定と現状

全ての県民利用施設で利用促進に係る目標が設定されている。

平成27年度の目標達成状況は、

- ・直営施設（8施設）…達成3、一部達成1、未達成4
  - ・指定管理施設（23施設）…達成10、一部達成7、未達成6
- となっている。

#### 【表1】平成27年度の目標達成状況等

※ 目標が複数ある場合は、主なものを記載した。

※ 施設の順番は、県民利用施設本庁所管課の組織順としている。

No	直営施設名	H27年度の状況	目標の内容（H27年度）	
1	歴史博物館	未達成	利用者数	基準値（115,639人）よりも増加
2	環境と人間のふれあい館 -新潟水俣病資料館-	達成	来館者数	30,000人以上
3	県立図書館	達成	入館者数	433,000人
4	生涯学習推進センター	一部達成	受講者数	H23年度実績より増加
5	少年自然の家	達成	利用者数	32,000人以上
6	文書館	未達成	来館者数	2,800人以上
7	近代美術館	未達成	利用者数	255,850人以上
8	万代島美術館（※1）			

※1 近代美術館の目標値は、分館である万代島美術館の利用者数を含んだものである。

No	指定管理施設名	H27年度の状況	目標の内容（H27年度）	
1	新潟県民会館	未達成	利用率	大ホール 65% 小ホール 77%
2	県立自然科学館	一部達成	入館者数	255,000～270,000人以上
3	関岬キャンプ場	未達成	稼働率	オートサイト 15% 一般サイト 5%
4	柏崎原子力広報センター	未達成	来館者数	7,500人以上
5	新潟ユニゾンプラザ	未達成	利用率等	貸室 38.16%、福祉機器展示室来場者数 13,500人以上、図書閲覧室利用者数 9,725人以上
6	新潟県障害者交流センター	一部達成	利用者数等	体育施設 28,000人以上等

No	指定管理施設名	H27年度の状況	目標の内容（H27年度）	
7	点字図書館	達成	図書貸出件数等	27,000 件以上
8	聴覚障害者情報センター	一部達成	映像ライブラリー貸出数等	252 件
9	新潟ふるさと村アピール館	達成	入館者数	520,000 人以上
10	鳥屋野潟公園（スポーツ公園）・清五郎ワールドカップ広場	一部達成	専用利用日数等	デンカビッグスワン 142 日以上、エコスタ 230 日以上
11	鳥屋野潟公園（女池・鐘木地区）	達成	イベント開催数	90 回以上
12	島見緑地、聖籠緑地	達成	イベント開催数	50 回以上
13	大潟水と森公園	達成	イベント開催数	50 回以上
14	県立植物園	未達成	入館者、入場者	観賞展示温室入館者 93,000 人以上、園内入場者数 257,000 人以上
15	紫雲寺記念公園	一部達成	有料公園施設利用者数等	プール 38,400 人以上等
16	奥只見レクリエーション都市公園	達成	イベント開催数	50 回以上
17	新潟コンベンションセンター、新潟県万代島駐車場、新潟港万代島緑地	達成	主要ホール、展示ホール稼働率	主要ホール 65%以上 展示ホール 60%以上
18	展望室（朱鷺メッセ）	未達成	来場者数等	310,000 人以上
19	柏崎マリーナ	一部達成	保管艇数等	164 艇以上
20	県政記念館	一部達成	入館者数等	15,800 人以上
21	埋蔵文化財センター	達成	来館者数	前年度以上
22	長岡屋内総合プール	達成	一般利用者数	139,100 人以上
23	健康づくり・スポーツ医学センター	達成	利用者数	46,000 人以上

## (2) サービス等の特性を踏まえた情報発信

すべての施設で、紙媒体、ホームページ、ブログ、テレビ・新聞等の各種媒体により、情報発信を行っている（表 2）。

SNS（ツイッター、フェイスブック）を利用している施設の状況は、表 3 のとおりである。

【表2】利用している媒体

媒体	直営施設（8施設）		指定管理施設（23施設）	
	有	無	有	無
紙媒体のパンフレット等	8施設	—	23施設	—
多言語版作成	1施設	—	4施設	—
英語を日本語版に併記	3施設	—	1施設	—
ホームページ	8施設	—	23施設	—
ツイッター	3施設	5施設	6施設	17施設
フェイスブック	2施設	6施設	11施設	12施設

【表3】SNSの利用状況

直営施設	ツイッター			フェイスブック	
	開始	ツイート数	フォロワー	いいね	備考
歴史博物館	2014.2月	486	6,664	651	
環境と人間のふれあい館 -新潟水俣病資料館-	2016.7月	15	4	/	
県立図書館					
生涯学習推進センター	2011.5月	6,071	1,214	/	

※ 「ツイート数」、「フォロワー数」、「いいね」数は平成28年10月末時点のもの

指定管理施設	ツイッター			フェイスブック	
	開始	ツイート数	フォロワー	いいね	
新潟ふるさと村 アピール館	2016.2月	478	532	1,611	
鳥屋野潟公園	スポーツ公園	2016.2月	98	53	359
	デンカビッグスワン	2014.2月	696	2,944	939
	エコスタ	2011.3月	2,639	2,901	1,251
鳥屋野潟公園 (女池・鐘木地区)	/			358	
島見緑地、聖籠緑地	/			63	
大潟水と森公園	2014.4月	256	43	123	
県立植物園	2011.6月	2,494	1,180	1,652	
紫雲寺記念公園	/			236	
奥只見レクリエーション 都市公園	/			164	
展望室（朱鷺メッセ）	/			131	

指定管理施設	ツイッター			フェイスブック
	開 始	ツイート数	フォロワー	いいね
柏崎マリーナ	2014.7月	557	140	96
埋蔵文化財センター	2016.7月	34	59	45
長岡屋内総合プール				319

※ 「ツイート数」、「フォロワー数」、「いいね」数は平成28年10月末時点のもの。ただし、デンカビッグスワン、エコスタはH29年2月21日時点のもの

### (3) 効率的なサービス提供の取組

多くの施設では、効率的にサービス水準を保つため、窓口業務、受付等の定型的な業務に係るマニュアルを整備している（表4）。

【表4】 接遇（窓口対応、利用者対応、苦情対応）マニュアルの整備状況

施設区分	有無の状況	
	有	無
直営施設（8施設）	6施設	2施設
指定管理施設（23施設）	16施設	7施設

### (4) 関係機関、ボランティア等との連携の取組

施設外部の資源等を活用してサービスの充実を図るため、関係機関やボランティア等と連携している施設や新たな利用者の掘り起こし等のため、アウトリーチ活動（※）を行っている施設が多い（表5及び表6）。

※ 「アウトリーチ活動」とは、通常、公的機関、公共的文化施設等が行う地域への出張サービスを言いますが、本行政監査では、施設外における出張サービスの実施（学校での出前講座の実施、他機関実施イベント等へのブース出展等）のほか、施設内における体験型事業の実施（学芸員のギャラリートーク、ワークショップの実施等）を含んでいます。

【表5】連携等の状況

連携等の内容		直営施設 (8施設)	指定管理施設 (23施設)
関係機関、企業等との連携	有	8施設	21施設
	無	—	2施設
県民、ボランティアとの連携	有	7施設	15施設
	無	1施設	8施設
アウトリーチ活動	有	8施設	17施設
	無	—	6施設

【表6】平成27年度の連携等の内容

No	直営施設名	連携等の内容 (H27年度)		
		関係機関等	ボランティア等	アウトリーチ
1	歴史博物館	兵庫県歴史博物館と実行委員会を組み、特別展「北前船」を実施した。	地元中学生からボランティアを募り、常設展示の案内解説を実施した(中学生ボランティア5人で延べ244人に案内)。	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験コーナー(116回、3,518人参加)</li> <li>出前講座(17回、648人参加)</li> <li>出前授業(16回)</li> </ul>
2	環境と人間のふれあい館-新潟水俣病資料館-	新潟水俣病に関する各種の講演会、パネル展示、出張講義、地域の文化祭など通年で関係機関と連携したイベントを実施している。	地元漁協や水俣病患者との連携により展示充実を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内教育機関(小学校~大学)、団体・企業に新潟水俣病に関する語り部口演(112回)や職員等による講義(10回)を実施</li> <li>子供向け夏休み工作教室(44回)や県民及び子供を対象にクリスマス工作教室(4回)を実施</li> </ul>
3	県立図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>共催事業の実施(H27年度7事業)</li> <li>企業と連携し100周年記念寄贈図書「課題解決支援文庫」開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>記念植栽</li> <li>こども図書室イベント「ボランティアといっしょに図書館の絵本を楽しもう」</li> <li>図書館ボランティア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと講座「地域版」</li> </ul>
4	生涯学習推進センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>にいがた地域連携公開講座(県内大学等教育機関や市町村と連携した専門的講座を県内各地で8回実施)</li> <li>著作権セミナー(文</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>映画ボランティアの会(地域のボランティアと協働で映画ビデオ鑑賞会を企画運営)</li> <li>学習ボランティアの会(学習相談業務に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディア研修会(出前講座。学校や市町村教育委員会等の要請により、担当職員による「情報モラル教育」講座等。14回実施)</li> </ul>

No	直営施設名	連携等の内容 (H27 年度)		
		関係機関等	ボランティア等	アウトリーチ
		化庁と共催) 実施 ・県内視聴覚関連施設 連絡会	係るボランティア養 成とボランティア活 動)	・生涯学習・家庭教育 に関する研修会(学 校・市町村の要請に 応じ、職員が講師と して出向いている (5回実施)。
5	少年自然の 家	国立妙高青少年自然 の家との共催で「はね 馬キャンプ」を開催 (H27 年度 2 回実施)	地元住民で組織する 「少年自然の家後援 会」と協働で「松葉か き」と「草刈り」を実 施 (H27 年度 2 回実施)	下越地区・新潟地区 の小学校で出前講座を 実施 (H27 年度 6 回実 施)
6	文書館	いきいき県民カレッジ 登録 (23 回)		職員の講師等派遣 (H27 年度 5 回)
7	近代美術館	企画展を新聞社など の実行委員会方式で開 催するケースがあり、 新聞社が記事を掲載す るなど、連携して利用 促進に努めている。	近代美術館友の会が 企画展の案内を発送す るなど美術館と連携し 利用促進に努めてい る。	・出前講座 6 回 9 コマ (244 名) ・ワークショップ 7 回 (83 名) ・美術でおしゃべり 3 回 (44 名) ・作品解説会 51 回 (436 名) ※作品解説会に美術で おしゃべり含む。
8	万代島美術 館	メディアと実行委員会 を設立し、共同で展覧 会を開催した (H27 年 度 3 回実施)。	・美術館と友の会及び サポートメンバーと 協働、連携して展覧 会に付随するイベン ト等を行った。 ・醍醐寺展で友の会企 画でアートカフェを 開催 (H27 年度 1 回 実施) ・サポートメンバーに よる活動 (H27 年度 55 回実施)	①施設内における体験 型事業の実施 ・外部講師による講演 会 (4 回実施) ・学芸員による美術鑑 賞講座 (4 回実施) ・学芸員による作品 解説会 (6 回実施) ・学芸員資格を目指す 学生等のための博物 館実習 (1 回実施) ・展覧会関連イベント (11 回実施) ②施設外における出張 サービスの実施 ・三条市公民館でのお 出かけ美術講座を実 施 (1 回実施) ・新潟市主催「水と土 の芸術祭」関連の韓 国人アーティストと の座談会に協力 (1 回)

No	直営施設名	連携等の内容（H27年度）		
		関係機関等	ボランティア等	アウトリーチ
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民映画館で上映の映画監督とのトーク（1回実施）</li> <li>・地元紙主催シンポジウムに協力（1回実施）</li> <li>・他機関開催展覧会において作品解説を実施（1回実施）</li> <li>・デザイン専門学校卒業修了制作展での審査協力（1回実施）</li> </ul>

No	指定管理施設名	連携等の内容（H27年度）		
		関係機関等	ボランティア等	アウトリーチ
1	新潟県民会館	芸術文化事業（公演）を実施する際、放送局、劇団等との共催により実施		
2	県立自然科学館	ロボット大会、野鳥観察会、プラネタリウムイベント等、地域の団体や企業と連携したイベントを23件開催	地域のボランティアが49名登録。ボランティアが中心で企画運営する工作教室、星空観察会等を計47回実施	館が主催して、コメ作りや林業体験を館外で実施。また地元の小学校や商業施設等での出張授業も開催
3	関岬キャンプ場		イベントの会場提供、地元農家による朝市（野菜販売）、地域団体のバーベキュー大会	
4	柏崎原子力広報センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体消防職員などを対象に原子力講座、施設見学会を実施（2回）</li> <li>・管内の小中学校教職員を対象に放射線教育研修会を実施（2回）</li> <li>・柏崎市消防団員を対象に原子力地域防災リーダー研修を実施（3回）</li> </ul>	柏崎・刈羽地域の町内会や商工会等の団体役員を委員とした「柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する会」を開催（12回）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉施設等で原子力出前講座を実施（14回）</li> <li>・自治体職員・消防団員等を対象に柏崎刈羽原子力発電所の見学会を実施（6回）</li> <li>・管外の小中学校教職員を対象に放射線教育研修会を実施（3回）</li> <li>・柏崎市教育委員会主催の「青少年のための科学の祭典」に参加出展（2回）</li> <li>・管内の児童クラブを対象にエネルギー</li> </ul>

No	指定管理施設名	連携等の内容 (H27 年度)		
		関係機関等	ボランティア等	アウトリーチ
				<ul style="list-style-type: none"> <li>劇・エネルギー科学教室を実施 (10 回)</li> <li>管内の小・中・高校で放射線やエネルギーに関する学習会を実施 (25 回)</li> <li>管内小学生親子を対象にエネルギーや放射線に関する体験学習を実施 (2 回)</li> <li>自治体職員、消防団員などを対象に原子力防災研修を実施 (15 回)</li> </ul>
5	新潟ユニゾンプラザ	<ul style="list-style-type: none"> <li>「福祉用具の日」をPRするため、福祉機器展示室において福祉用具・啓発キャンペーンを実施した。</li> </ul>		
6	新潟県障害者交流センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>「春まつり」は江南区健康福祉課、江南区社協、亀田商工会青年部、近隣福祉施設等と実行委員会を組織し、7 年連続で開催している。</li> <li>日常清掃業務において、民間ビル管理会社及び近隣障害者福祉施設と連携し効率的に運営している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ教室 (水泳、卓球、アーチェリー等) 文化教室 (囲碁将棋等) においては近隣住民及びボランティア、学生等幅広い協力により事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ事業では、デンカビッグスワンでの陸上教室、HARD OFF ECO スタジアムでのアーチェリー大会ほか県内各地の社会資源を有効活用して約 30 か所で各種出張スポーツ事業を展開した。</li> </ul>
7	点字図書館			移動点字図書館
8	聴覚障害者情報センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>県聴覚障害者協会、県中途失・難聴者協会、県要約筆記連盟など、関係団体と共催で事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域及び学校の要請などにより、手話指導を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟、長岡聾学校を訪問して DVD の貸出を行う「巡回ライブラリー」の実施</li> <li>県内各地の手話サークルを訪ね、情報センターの事業案内を行う「移動情報センター」の実施</li> </ul>
9	新潟ふるさと村アピール館	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャレンジショップ出店企業等と連携し県産品の販売促進</li> <li>道の駅連絡会議による</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟ふるさと村サポーターズクラブ (H27 年度末会員数 148 名) 新潟ふるさと村で行わ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験型事業として、アピール館内で工作や制作等を体験できる各種「体験教室」を実施</li> </ul>

No	指定管理施設名	連携等の内容 (H27 年度)		
		関係機関等	ボランティア等	アウトリーチ
		る他の道の駅との連携	れるイベント等にボランティアとして参加頂いている。活動は5月に花畑でのチューリップの撤去作業、6月のハンギング制作など (H27 年度 5 回実施)。	(年間 70~80 回程度)
10	鳥屋野潟公園 (スポーツ公園)、清五郎ワールドカップ広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校との連携により、総合学習及び職場体験を受け入れ (H27 年度 16 回実施)</li> <li>新潟県、新潟市等と連携し、カナル彩などのイベントを開催 (H27 年度 99,000 人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園サポーター、ながたの森を愛する会による園内の花壇管理、樹名ラベルの設置などを行った。 (H27 年度 52 回実施)</li> <li>スポーツ公園ボランティアによるスタジアム等で行われる大会・イベントの運営補助等を行った (H27 年度 17 回実施)</li> </ul>	園内でのネイチャーゲームや野球塾、マラソンなどの体験事業を実施 (H27 年度 276 回)
11	鳥屋野潟公園 (女池・鐘木地区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校との連携により、総合学習及び職場体験を受け入れた (H27 年度 12 回実施)。</li> <li>新潟市と連携し、市民ハクチョウ・ホワイト・フェスタに参加しイベントを開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民からなるボランティアと協働で花苗植付、除草、ゴミ拾い等を実施した (H27 年度 10 回実施)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県主催の緑花フェアへのブース出店や園内でのバードウォッチングなどの体験型事業を実施 (H27 年度 115 回)</li> </ul>
12	島見緑地、聖籠緑地	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校や保育園大学等と連携して、環境教育や花植え等を行った (H27 年度 7 回)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の企業や利用者の方と連携して、ゴミ拾いや芝張り、芝の苗植え等を行った (H27 年度 6 回)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内でのサツマイモ収穫や苔玉体験などの事業を実施 (H27 年度 61 回)</li> </ul>
13	大潟水と森公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校との連携により中学生の職場体験や上越地域若者就労者支援の受入れなどを行った (H27 年度 18 回)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園サポーターによる樹木選定や除草、冬囲い、イベント等を実施 (H27 年度 79 回実施)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の大潟かっぱ祭りや高田開府 400 年さくらフォーラム in 上越などに参加し体験教室や公園 PR などを行った (H27 年度 4 回)。</li> </ul>
14	県立植物園	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校との連携により、博物館実習やインターンシップを受け入れた。 (H27 年度 7 校実施)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアによる栽培管理、標本製作、展示解説などを実施 (H27 年度 34 人 (延べ 625 人))</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟市への街路樹診断講習会や小学校の総合学習での講義など、外部講師等を行っている。</li> </ul>

No	指定管理施設名	連携等の内容 (H27 年度)		
		関係機関等	ボランティア等	アウトリーチ
		<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟県下水道課及び長岡技術大学が実施する下水熱・バイオガスを利用した植物生産技術に協力している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>園内での樹木の剪定体験などの事業を実施 (H27 年度 129 回)</li> </ul>
15	紫雲寺記念公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>新発田市と連携し、しばた紫雲寺うまいもの再発見フェアを開催した (H27 年度 2,500 人)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のボランティアと連携し、園内の除草やゴミ拾いを実施 (H27 年度 6 回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内での水中エクササイズやフラワーアレンジメントなどの体験型事業を実施 (H27 年度 89 回)</li> </ul>
16	奥只見レクリエーション都市公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>魚沼市観光協会や堀之内商工会などと連携し、シバザクラ祭りを開催 (H27 年度来園者数 30,400 人)</li> <li>小学校、中学校、大学と連携し、校外学習体験等を実施 (H27 年度 21 回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方々より園内清掃や花苗を植えてもらった (H27 年度 231 人)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園内でネイチャーゲーム体験や門松づくりなど、体験型事業を行っている (H27 年度 61 回)。</li> </ul>
17	新潟コンベンションセンター、新潟県万代島駐車場、新潟港万代島緑地	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟日報と協定を締結。年 1 回以上の自主事業を実施 (H27 年度 1 回実施)</li> <li>関係機関、企業等との共催、協賛イベントの実施 (H27 年度 11 件)</li> </ul>		
18	展望室 (朱鷺メッセ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「湊まち新潟」についての NPO 法人「新潟みなとくらぶ」主催による「湊まち新潟歴史ウォーク」修了式が開催された (H27 年度 1 回)。</li> </ul>		
19	柏崎マリナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーナーズ倶楽部と共催で、体験乗船会や海事関係講習会を開催している (年 2 ～ 3 回)。</li> <li>かしわざきうみの駅として、北陸信越うみの駅連絡会の座長を務めている (全国</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種イベント (ビーチピクニック等での) への協力及び漁協やコミュニティセンターでの会議等において、イス・備品貸出等を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟ボートショーにブースを出展 (年 1 回 2 月)</li> </ul>

No	指定管理 施設名	連携等の内容 (H27 年度)		
		関係機関等	ボランティア等	アウトリーチ
		ネットワーク理事)。 ・海上安全指導員や海上保安協力員の指名を受けている。		
20	県政記念館	新潟市と連携し、ラ・フォル・ジュルネ、アートミックスジャパン、がたふえす関連イベントを実施		
21	埋蔵文化財センター	県教育委員会や市町村教育委員会との両主催・共催で、自主イベントを実施 (H27 年度 4 事業実施)	平成 27 年度親子考古学教室に学校の教員参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外学習 (33 校 1,774 人)</li> <li>・展示解説会 (4 回)</li> <li>・親子考古学教室 (3 回)</li> <li>・体験コーナー (4 回)</li> <li>・出前授業 (8 校 302 人)</li> </ul>
22	長岡屋内総合プール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・命名権を購入したダイエープロビス社と連携しプールの知名度アップと利用の向上を図っている。</li> <li>・年 4 回、無料開放日として実施される「ダイエープロビスデー」には、初心者向けの体験イベントを企画するなど、プール関係者が一体となって利用の底辺拡大に努力している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡市スポーツフェスタへの出演 (H27 年度 1 回実施)</li> <li>・企業への出張運動教室を実施 (H27 年度 4 回実施)</li> </ul>
23	健康づくり・スポーツ医科学センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デンカビッグスワンとの共催で県民向けのイベント開催 (簡易体力測定、ストレッチングガイド等) を行った (H27 年度 4 回実施) ほか、県民向けのウォーキング、ジョギング教室開催 (H27 年度 2 回実施)</li> <li>・健康保険組合連合会新潟連合会との共催で健康づくりの運動講座を行った (H27</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動を体験する教室として、ヨガ、ピラティス等の県民講座を行った (H27 年度 12 回実施)。</li> <li>・元気にいがた健康フォーラムにブース出展し、簡易体力測定を行った (27 年度 1 回実施)。</li> </ul>



## 2 安全、快適な施設の管理運営の取組

### (1) 建物、設備等の点検管理と計画的な維持修繕

県民利用施設は、古いものは50年、新しいものは7年、約半数の施設は20年以上が経過している。施設の長寿命化に向け、維持修繕（保全）計画を策定している施設の状況は表8のとおりである。

また、日常点検の実施方法は表9のとおりである。

【表8】施設の経過年数等の状況

No	直営施設名	供用開始	経過年数	維持修繕（保全）計画	備考
1	歴史博物館	H12年度	16年	有	
2	環境と人間のふれあい館 -新潟水俣病資料館-	H13年度	15年	無	
3	県立図書館	H4年度	24年	無	改修予定あり
4	生涯学習推進センター	H4年度	24年	—	図書館と同じ建物
5	少年自然の家	S48年度	43年	無	建替予定あり
6	文書館	H4年度	24年	—	図書館と同じ建物
7	近代美術館	H5年度	23年	無	
8	万代島美術館	H15年度	13年	有	
			平均 22.8年		

No	指定管理施設名	供用開始	経過年数	維持修繕（保全）計画	備考	
1	新潟県民会館	S42年度	50年	無		
2	県立自然科学館	S56年度	35年	無		
3	関岬キャンプ場	H7年度	21年	無		
4	柏崎原子力広報センター	S61年度	30年	有		
5	新潟ユニゾンプラザ	H8年度	20年	有		
6	新潟県障害者交流センター	H9年度	19年	有		
7	点字図書館	H9年度	19年	—	障害者交流センターと同じ建物	
8	聴覚障害者情報センター	H9年度	19年	—		
9	新潟ふるさと村アピール館	H3年度	25年	有		
10	鳥屋野潟公園	スポーツ公園園地	H10年度	18年	有	
		デンカビッグスワン	H13年度	15年	有	
		エコスタ	H21年度	7年	有	

No	指定管理施設名	供用開始	経過年数	維持修繕(保全)計画	備考	
11	鳥屋野潟公園 (女池・鐘木地区)	S61年度	30年	有		
12	島見緑地	H5年度	23年	有		
	聖籠緑地	H15年度	13年			
13	大潟水と森公園	H12年度	16年	有		
14	県立植物園	H10年度	18年	有		
15	紫雲寺記念公園	H2年度	26年	有		
16	都市公園 奥只見 レクリエーション	浦佐地域	H10年度	18年	有	
		小出地域	H8年度	20年		
		大湯地域	H2年度	26年		
		道光・根小屋地域	H15年度	13年		
		須原地域	H4年度	24年		
		浅草岳地域	H元年度	27年		
17	新潟コンベンションセンター	H15年度	13年	有		
	新潟県万代島駐車場	H13年度	15年			
	新潟港万代島緑地	H15年度	13年			
18	展望室(朱鷺メッセ)	H15年度	13年	無		
19	柏崎マリーナ	H2年度	26年	有		
20	県政記念館	S50年度	41年	無	耐震工事予定あり	
21	埋蔵文化財センター	H8年度	20年	無		
22	長岡屋内総合プール	H20年度	8年	有		
23	健康づくり・スポーツ医科学センター	H14年度	14年	有		
			平均 21.1年			

【表9】建物、設備等の日常点検の実施状況

No	直営施設名	日常点検の実施頻度等
1	歴史博物館	毎日実施(委託)
2	環境と人間のふれあい館 -新潟水俣病資料館-	毎日実施(職員)
3	県立図書館	毎日実施(委託)
4	生涯学習推進センター	県立図書館と同じ建物
5	少年自然の家	月1回以上(職員)
6	文書館	県立図書館と同じ建物
7	近代美術館	毎日実施(委託警備員)
8	万代島美術館	毎日(職員)

No	指定管理施設名	日常点検の実施頻度等
1	新潟県民会館	毎日実施（委託）
2	県立自然科学館	毎日実施（委託）
3	関岬キャンプ場	毎日実施（職員）
4	柏崎原子力広報センター	毎日実施（職員）
5	新潟ユニゾンプラザ	毎日実施（職員）
6	新潟県障害者交流センター	毎日実施（職員）
7	点字図書館	
8	聴覚障害者情報センター	
9	新潟ふるさと村アピール館	毎日実施（職員）
10	鳥屋野潟公園（スポーツ公園） ・清五郎ワールドカップ広場	日常点検（1日2回）
11	鳥屋野潟公園（女池・鐘木地区）	1日2回実施（職員）
12	島見緑地・聖籠緑地	1日2回実施（職員）
13	大潟水と森公園	1日2回実施（職員）
14	県立植物園	1時間1回実施（職員）
15	紫雲寺記念公園	1日2回実施（職員）
16	奥只見レクリエーション都市公園	1日2回実施（職員）
17	新潟コンベンションセンター、新潟県 万代島駐車場、新潟港万代島緑地	毎日実施（委託）
18	展望室（朱鷺メッセ）	毎日実施（職員）
19	柏崎マリーナ	毎日実施（職員）
20	県政記念館	毎日実施（職員）
21	埋蔵文化財センター	なし
22	長岡屋内総合プール	毎日実施（職員）
23	健康づくり・スポーツ医科学センター	毎日実施（委託）

(2) 多様な利用者への設備面での配慮について

多様な利用者への設備面での配慮の状況については、車椅子用トイレのようにほとんどの施設で対応済の設備がある一方で、未対応の設備もある（表10）。

【表10】多様な利用者への設備面での配慮の状況

設備	対応済の施設数	
	直営施設 (8施設)	指定管理施設 (25施設※)
傾斜路の設置	7	18
手すり	7	22
車椅子用トイレ	8	24
オストメイト対応洗浄設備	1	13
視覚障害者誘導用床材、注意喚起用床材	3	14
点字等の案内版	0	12
音声等案内装置	0	5

設備	対応済の施設数	
	直営施設 (8施設)	指定管理施設 (25施設※)
難聴者用補聴設備	0	4
救護室	3	12
車椅子の貸出し	8	19
授乳場所	7	13
おむつ交換場所	7	18
ベビーカーの貸出し	4	5
ベビーベット、ベビーチェア	7	12
託児室	0	1
車椅子使用者用駐車場	3	20
思いやり駐車場	5	11
外国語、ピクトグラム案内版	6	12
人的サポート	5	11

※ 指定管理施設は、鳥屋野潟公園（スポーツ公園）の大規模施設（デンカビッグスワン、エコスタ）を別に集計したため、25施設となっている。

### (3) 災害等への準備状況

AEDは、一部の施設で設置されていないが、未設置施設の場合でも、同一ビル内や隣接施設に設置されているAEDが利用可能とのことである。災害時のマニュアルは、すべての施設で整備されている。

消防訓練は、消防計画上必要に応じて実施するとしている施設、法定訓練実施対象外施設を除き、すべての施設で実施されていた。（表 11）

【表 11】 災害等への準備状況

No	直営施設名	AEDの設置	災害対応マニュアルの整備	消防訓練実施回数(H27年度)
1	歴史博物館	有	有	2
2	環境と人間のふれあい館 -新潟水俣病資料館-	有	有	1
3	県立図書館	有	有	2
4	生涯学習推進センター	県立図書館と同じ建物		
5	少年自然の家	有	有	2
6	文書館	県立図書館と同じ建物		
7	近代美術館	有	有	1
8	万代島美術館	有	有	2

No	指定管理施設名	A E D の設置	災害対応 マニュアル の整備	消防訓練 実施回数 (H27 年度)
1	新潟県民会館	有	有	2
2	県立自然科学館	有	有	2
3	関岬キャンプ場	有	有	- (※4)
4	柏崎原子力広報センター	無 (※1)	有	1
5	新潟ユニゾンプラザ	有	有	2
6	新潟県障害者交流センター	有	有	2
7	点字図書館	交流センターと同じ建物 (ふれ愛プラザ)		
8	聴覚障害者情報センター			
9	新潟ふるさと村アピール館	有	有	2
10	鳥屋野潟公園 (園地)	有	有	2
	鳥屋野潟公園 (デンカビッグスワン)	有	有	2
	鳥屋野潟公園 (エコスタ)	有	有	2
11	鳥屋野潟公園 (女池・鐘木地区)	有	有	1
12	島見緑地、聖籠緑地	有	有	- (※4)
13	大潟水と森公園	有	有	1
14	県立植物園	有	有	2
15	紫雲寺記念公園	有	有	2
16	奥只見レクリエーション都市公園 (浦佐、道光・根小屋)	有	有	2
	奥只見レクリエーション都市公園 (小出、大湯、須原、浅草岳)	無 (※2)		
17	新潟コンベンションセンター、新潟県 万代島駐車場、新潟港万代島緑地	有	有	6
18	展望室 (朱鷺メッセ)	無 (※3)	有	2
19	柏崎マリーナ	有	有	0 (※4)
20	県政記念館	有	有	2
21	埋蔵文化財センター	有	有	1
22	長岡屋内総合プール	有	有	2
23	健康づくり・スポーツ医科学センター	有	有	2

※1 柏崎原子力広報センター隣接の野球場管理棟にA E Dが設置されている。

※2 奥只見レクリエーション都市公園 (小出、大湯、須原、浅草岳) は、併設の魚沼市施設にA E Dが設置されている。

※3 展望室 (朱鷺メッセ) が所在する万代島ビル1階防災センターにA E Dが設置されている。

※4 消防訓練未実施の3施設のうち、柏崎マリーナは消防計画上「必要に応じて実施」するとしているため、H27年度は実施なし。関岬キャンプ場、島見緑地・聖籠緑地は法定訓練の実施対象外施設。

#### (4) 個人情報の適正な管理

個人情報の収集があるすべての施設で対策が講じられている（表 12）。

【表 12】個人情報の管理方法

No	直営施設	収集の有無	管理方法（※）			
			管理的保護措置	技術的保護措置	物理的保護措置	その他
1	歴史博物館	有		○		
2	環境と人間のふれあい館	有	○	○	○	
3	県立図書館	有	○	○	○	
4	生涯学習推進センター	有	○	○	○	
5	少年自然の家	有			○	外付け HD
6	文書館	有		○	○	
7	近代美術館	有		○	○	
8	万代島美術館	有		○	○	

No	指定管理施設名	収集の有無	管理方法（※）			
			管理的保護措置	技術的保護措置	物理的保護措置	その他
1	新潟県民会館	有	○		○	
2	県立自然科学館	有	○	○	○	
3	関岬キャンプ場	有	○		○	
4	柏崎原子力広報センター	有	○		○	
5	新潟ユニゾンプラザ	有	○	○	○	
6	新潟県障害者交流センター	有	○		○	
7	点字図書館	有	○		○	
8	聴覚障害者情報センター	有			○	
9	新潟ふるさと村アピール館	有	○		○	利用後はアンケート用紙の粉碎処理を実施
10	鳥屋野潟公園（スポーツ公園）・清五郎ワールドカップ広場	有	○		○	
11	鳥屋野潟公園（女池・鐘木地区）	有	○	○	○	イベントに関して収集した個人情報は終了後、シュレッダーに

No	指定管理施設名	収集の有無	管理方法（※）			
			管理的保護措置	技術的保護措置	物理的保護措置	その他
						より廃棄
12	島見緑地、聖籠緑地	有	○		○	
13	大潟水と森公園	有	○			
14	県立植物園	有	○		○	
15	紫雲寺記念公園	有		○		
16	奥只見レクリエーション都市公園	有	○		○	
17	新潟コンベンションセンター、新潟県万代島駐車場、新潟港万代島緑地	有	○	○	○	
18	展望室（朱鷺メッセ）	有			○	
19	柏崎マリーナ	有	○		○	
20	県政記念館	無	-	-	-	-
21	埋蔵文化財センター	有	○			
22	長岡屋内総合プール	有	○	○	○	
23	健康づくり・スポーツ医科学センター	有	○	○	○	

- ※ 「管理的保護措置」…組織、内部管理規程の整備、担当者の研修等の意識啓発その他の管理的保護措置  
「技術的保護措置」…パスワードの設定等電子計算機処理に伴うアクセスの制限、データの暗号化その他の技術的保護措置  
「物理的保護措置」…個人情報を管理している施設への第三者の立入制限、施錠された書庫等における個人情報の保管その他の物理的保護措置

## II 監査に係る意見（総論）

監査対象となったすべての県民利用施設において、利用促進の目標達成に向けて様々な取組に努めており、31 施設のうち 21 施設が目標達成又は一部達成している。

しかしながら、一部施設においては目標未達成の状況が継続しており、また、利用者の目線から見て利用しにくい施設の状況も見受けられる。

公の施設は県民の財産であり、県民に身近な行政サービスの一層の利用促進のため、次の点について更なる努力を求める。

### 1 適切な目標設定について

目標は、利用促進の戦略を決める重要な要素であり、監査対象となったすべての県民利用施設で利用促進に係る目標が設定されていた。しかしながら、目標の内容と実績の関係を見ると、一部ではあるが次のような施設が見られた。

- (1) 実績に比べて高すぎる目標を設定しているため、目標達成が困難になっている施設
- (2) 実績に比べて低い目標を設定しているため、目標の意味がなくなっている施設
- (3) 「アウトプット指標」のみを目標値としている施設

これまでの利用実績、時間の経過によるニーズ等の外部環境の変化等を踏まえた適切な目標の設定と、目標の適時の見直しに努められたい。

### 2 目標達成に向けて必要な人材の育成・確保について

直営施設では、職員の専門性を活かしたサービス提供が、指定管理施設では、指定管理者のノウハウを活かしたサービス提供が行われており、これらが県民利用施設の強みとなっている。さらに、すべての県民利用施設において、強みを活かしたイベントの実施により利用促進を図っている。

このため、県民利用施設の職員は、その施設の特性に応じた専門性に加え、有効なイベント実施のため、企画力や情報発信力、マーケティング等の幅広い能力が求められている。

また、利用促進に係る目標の達成に向けては、効果的な戦略を策定し実行していくことが必要であり、そのための人材の育成・確保が重要である。

これらの点から、施設の利用促進に向けて、より一層の人材育成・確保に努められたい。

### 3 県民の視点に立った広報及び情報発信の工夫について

魅力のある施設、サービスにもかかわらず、県民からあまり認知されておらず、利用につながっていない施設が見受けられた。

一方、一部の施設では、ツイッター、フェイスブック等の SNS を利用し

た情報発信が行われている。効果的にSNSを活用している施設は、写真・動画の多用、発信者の人柄が感じられ共感を呼ぶ内容、更にこれらの頻繁な更新等、より多くの人に見てもらえるような工夫を行っている。

利用者層となる県民の視点に立ち、様々な広報媒体を活用し、より一層工夫した情報発信に努められたい。

#### 4 常設展示の更新について

自然科学館、植物園（観賞展示温室）、歴史博物館等では、長期間、常設展示の大規模な更新が行われておらず、施設の魅力が低下している。

これらの施設は、企画展示による利用促進に努めているが、施設本来の魅力を向上し、より一層の利用促進につなげるため、常設展示の更新について検討されたい。

#### 5 利用者目線での施設対応について

県民利用施設は、供用開始から20年を経過している施設が多く、バリアフリー、洋式トイレ、AED、さらに男女問わず利用できるおむつ替え場所の設置等、今の時代に求められる設備に十分には対応しきれていない施設が見受けられた。

こうした設備が設置されていても館内表示が分かりにくい施設があった。また、施設への案内表示が分かりにくいため利用者が混乱するおそれがある施設もあった。

多くの県民から利用していただく施設であることを念頭に、利用者目線で施設・設備や案内表示が適切か、改めて確認の上、不十分な点については早期の改善に努められたい。

#### 6 計画的な維持修繕について

県民利用施設は、古いものは50年、新しいものは7年、約半数の施設は20年以上が経過し、建物・設備の老朽化が進んでいる。施設の長寿命化のため、予防保全の観点も踏まえ、維持修繕（保全）計画が未策定の施設にあってはその策定を含め、計画的な維持修繕に努められたい。